

令和2年4月15日

環境科学院 学生の皆さんへ

大学院環境科学院長 大原 雅

環境科学院における学修・研究活動について

環境科学院では、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めながら、学生の皆さんの学修及び研究活動の機会確保に全力で取り組んでいます。また、本学では、学生及び教職員に向けて、「換気が少ない閉鎖空間で複数人が一定期間、手を伸ばせば触れる距離感で会話をするような機会が危険である」との注意喚起が行われています。

本学院では、今週から授業が開始されましたが、授業および研究活動の実施にあたっては、各担当教員が状況に応じて下記の感染防止策を講じるように本学院として指示しています。このことについて学生の皆さんにお知らせすると共に、学生の皆さんにも感染拡大防止のためのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

記

1. 授業の方法について

- ・教室内での学生間の距離の確保、定期的換気を実施すること。
- ・必要に応じて授業時間を短縮すること。
- ・履修者数の状況に応じて講義室の変更を検討すること。
- ・大人数の授業は、遠隔授業等の多様な方法により行うこと（環境科学総論は対応済み）。
- ・学生の出席回数は柔軟に対応すること。
- ・今年度の開講が難しい授業科目については、来年度開講すること。

2. 研究室における活動について

- ・研究室内での学生間の距離の確保、定期的換気、研究活動時間については学生と協議の上、必要最低限にとどめること。
- ・手洗いを励行するとともに、できる限りマスクを着用すること。
- ・教職員についても、時差出勤の要否について検討し必要に応じ実施すること。
- ・その他本学HPに掲載の「研究室内での基本的な対応について」に留意すること。

【本件担当】

環境科学事務部 教務担当

電話：内線 2204, 2205

E-mail：kyomu(at)ees.hokudai.ac.jp